

蓄電池復興に役立てて

馬淵工業所
事業協同組合 市へモジュール寄贈

宮城県の(株)馬淵工業所(小野寿光社長)と、まちのちから合同事業協同組合(会長・小野社長)は8日、両社が開発販売を行っているリチウムイオン蓄電池モジュール「ENSUS-2」(エネサス2)を人吉市に寄贈した。同製品は、充電器やインバータなどの周辺

機器と組み合わせ蓄電システムを構築するための蓄電池モジュール。蓄電容量は毎時2・65キロワット(平均的な一般家庭の消費電力は一日5キロワット、10キロワット)バッテリーマネージメントシステムにより接続する全てのバッテリーが均等に充電、



発行所
人吉新聞社

〒868-0072人吉市西岡下町112-3
電話(0966)24-2111(代)
FAX(0966)24-2113(代)
(HP) www.hitoyoshi-sharepla.com
(E) daiyou@hitoyoshi-press.com

放電されるため、エネルギーロスが少ない効率的な蓄電システムを構築することが可



目録を手渡す小野社長(左)

能。全国で導入する自治体や企業があり、新型コロナウイルススワクチン保管用冷凍庫の非常用電源や施工現場でのポータブル電源などに活用されている。カルチャーパレス仮本庁舎市長公室を訪れた小野会長らが「私たちが東日本大震災を経験しており、それから安心安全に過ごせる製品を作ろうと志してきた。人吉球磨地域の復

興のため活用していただけ」と目録を手渡した。松岡隼人市長は「コロナ禍の中の発災で、ボランティアの受け入れに制限をかけるを得ず、厳しい状況

だった。ようやく復興に足を着いた段階となり、1段も2段もギアを上げ復興を進めていく」と感謝を述べた。なお、寄贈された蓄電池モジュールは道の駅人吉「人吉クラフト

パーク石野公園」で使用する予定。